

日本列島組合探検隊

出荷量全国トップレベルを目指す「みやざき地頭鶏」 ～みやざき地頭鶏事業協同組合～

■背景と目的

みやざき地頭鶏は、平成2年に素ひなの供給を開始後着実に発展し、類似商品の販売を規制するために「地域団体商標」を平成22年4月9日に取得し品目として認定され、全国的にも注目される存在に成長してきた。組合としては、生産から流通・販売までを連携して、生産コストの削減や販売状況調査に取り組むこと及びブランド力の向上を目指している。



■事業・活動の内容

共同販売事業においては、組合員からの要請に応じて新規指定店を紹介し、組合員企業の販売促進に貢献している。また、組合誌「みやざき地頭鶏だより」の発刊により、組合員と指定店との連携が深まり、またホームページの内容の充実を図ることにより顧客や指定店からのアクセス数が急増するなど、情報提供事業の充実によりみやざき地頭鶏の知名度と組合の評価を高めることができた。

■成果

今年度より、「みやざき地頭鶏ブランド推進協議会」を立ち上げ、今まで以上に首都圏にて販売促進活動を展開することにより、首都圏における販売店と販売量の増加が期待できる。また、新たに新商品開発や新ブランド名の作成、各種ボランティア活動等の5つのプロジェクトを発足させ組合活動の成果拡大を目指している。

【組合の概要】

所在地：〒880-0806

宮崎県宮崎市広島1丁目13番10号 畜産会館

電話：0985-77-5566

設立：平成20年10月 組合員数：47人

URL：http://www.mijitokko.jp/

※本コーナーは、全国中央会が取りまとめた「平成23年度先進組合事例抄録」をもとに編集しております。



組合ティールーム

協同組合秋田県旅行業協会

理事長 佐藤 武義 さん

○業界の現状について

当組合は、平成14年に設立し、現在、38事業所が加入しております。事業内容として、旅行クーポン券やパック旅行商品の共同販売を行っており、単独ではクーポン券を取り扱えない会員の利便性や旅行商品の品揃えの充実等を図っております。

東日本大震災後は一時旅行者が落ち込みましたが、徐々に回復し、昨年は、東北観光博覧会ツアーと銘打って宿泊費の補助を行い、多くのお客様からご利用いただきました。

○理事長としての抱負

本年10月から、本県を対象とするDC(デスティネーションキャンペーン)が実施されるため、県をあげて事前PRやキャンペーンに取り組み、本県への誘客を目指しております。当組合でも着地型旅行商品の企画を推進しておりますが、DCを一つの契機と捉え、魅力ある観光商品の充実に努めております。全国の方が秋田に来てくれることを期待しています。

○座右の銘

座右の銘と呼べるほどに時を経ていませんが、最近手にとった本の中で、幻冬舎・見城社長の「憂鬱でなければ、仕事じゃない」というフレーズが心に突き刺さっています。「仕事は楽しくするべき」という意見もありますが、仕事には段取りなど煩わしさがつきまとうもので、それらを乗り越えてこそ努力が実るのではないのでしょうか。

○趣味

趣味はいろいろありますが、若い頃からオートバイが大好きで、1200ccに乗っています。近頃は、体力的なことや、時間の制約もあって、麻雀やジャズ、移動の空き時間に映画館で洋画を楽しむことが多くなりましたが、愛車の手入れは欠かさずに行っています。

また、お気に入りの音楽を楽しむために、スピーカーを組み立てたりしています。

